

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス わくわくぶらす		公表日		2026年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
8	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	個別療育と集団療育の訓練室を分け、それぞれの活動に適したスペースとなっています	長期休暇中は放課後等デイサービスの児童と利用時間が重なるため、普段より人数が多くなることがあります	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	育児休暇中のスタッフがいますが、配置数は適切です。	スタッフの一時的な減少でも、支援の質が損なわれないよう、適切に体制を整えていきます	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	視覚支援により子ども自身が、主体的に動けるよう構造化を整えています	建物が古民家の為段差や階段があります。出来る限りの工夫を行い安全管理を行っています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	こまめなふき取り消毒（清拭）や換気など感染対策を十分に心がけています	クラスター発生を想定した訓練や研修を充実させていきます	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	お子さんの状態により、安心できる場所を確保しています	静養室と面談室が兼用となっているため、今後の課題としてとらえています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	個別支援会議によりクリアすべき課題の評価を毎月開催しています	会議に参加できないパートタイム職員への申し送りを徹底します	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	アンケートの内容を職員で共有し、ご意向の把握に努めています	様々な保護者さまの意見やニーズをまとめるための工夫が必要と感じています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	スタッフ面談を行い、現状の把握や業務改善に努めています	勤務時間の違いにより、対話による把握に偏りがあると認識しています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	保護者や関係機関との連携により、風通しの良い事業所作りを心がけています	第三者による外部評価に至っておりません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	毎月の事業所内研修の他、外部講師による研修に幅広く参加しています	研修内容がマンネリ化しないように情報収集を行います	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	ワムネット、ホームページやSNS等幅広いメディアを通して公表しております。事業所にも掲示しております	サービス毎に支援プログラムを作成し、公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	モニタリング毎に5領域に基づいたアセスメントを行っています	利用者様の課題と保護者様のニーズに乖離がある場合は丁寧な説明と同意を心がけています	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	個別支援計画書（案）の策定後にカンファレンスを行い、現場スタッフの意見を求めるようにしています	パートタイムスタッフのカンファレンス参加が課題と捉えています	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	スタッフミーティングの時に、計画書の確認を行い、支援の統一を図っています	ミーティングに参加できなかったスタッフへの申し送りを徹底します	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	行動観察、アセスメントを丁寧に行い子どもの特性や行動の背景を把握しています	検査結果や数値で判断出来ない行動の様子や興味関心と組み合わせで捉えるよう、心がけていきます	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	5領域ごとにアセスメントした結果から具体的な関わり方や活動の内容を表記しています	具体的支援内容が本人にとって難しすぎず、且つ簡単すぎない「楽しんでチャレンジ出来る」活動を増やしていきます	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	毎日のスタッフミーティングにより全職員で検討する時間を確保しています	朝礼に参加できない職員の意見や希望を、どのように反映させていくかが今後の課題と考えています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	個別支援計画書をもとに様々な活動を検討し、飽きの来ないよう心がけています	ルーティンとして固定化する事で安定に繋がる活動は、継続して取り組みます	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個別療育と集団療育それぞれの良さが十分に発揮できるよう、個別支援計画書の具体的な支援方法に記載しています	曜日によって利用者の人数が異なりますが、児童が少ない時の集団活動の工夫が課題です	

適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	スタッフミーティングで支援内容や担当を発表し、変更点や詳細を共有しています	チーム療育やチーム連携について、継続した研修で職員の意識向上に努めます
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	本日の振り返りと明日への申し送りを、見える化してスタッフ間で共通認識しています	イレギュラーな活動（イベント等）の際には終礼が整わない場合もあります
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	毎日の支援記録を欠かさずに行い、月に1度の個別支援会議ではその記録をもとに評価を行いPDCAサイクルに繋げています	記録の書き方をテーマにした研修を行い、新人スタッフでもスムーズに業務に対応できるようにしていきたい
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	定められた期間をもとにモニタリングを行い、見直しや新たな課題の整理を行っています	保護者さまの意見の反映が中心となる場合が多いので、可能な限り利用者様の意思決定を反映させていきたい
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	担当者会議には管理者が出席し、関係機関と連携及び情報共有を行っています	より具体的な状況説明の為、指導員の同席も積極的に取り入れていきたいと考えています
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	行政や地域の子育て支援、児童相談所などと連携しネットワークで繋がる支援を心掛けています	利用者様により連携回数に偏りがあるので、連携の呼びかけを積極的に行って行きます
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	現在はどの利用者様も併用利用となっており、所属の園との連携を行っております	一人ひとりのお子様の発達段階を丁寧に評価した上で、インクルージョン推進が適切かどうかを検討してまいります
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	就学を控えたお子様には、進学先の小学校や教育委員会と連携し情報共有を行っています	情報提供したことが就学後に反映されているか、特に利用が終了したお子さんへの対応が課題と思われれます
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	8	圏域の児童発達支援センターが主催する研修に積極的に参加しています	センターと併用している利用者様がいない事から、連携にまで至っておりません。今後の課題として捉えています
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	他園との交流には至っていません。地域の公園や児童館、行事参加などにより触れ合う場面を増やす支援を行っています	インクルージョンの推進は今後も大きな課題として捉え、心がけています
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	保護者様へはその日の様子を連絡帳アプリで丁寧に伝える事を心がけています。写真を加えより分かりやすく伝えて	特に頑張った事や出来るようになった事に保護者様の目が向くようなお伝えの仕方に留意しています
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	ペアレントプログラムの指導研修を受けた職員を配置しているので、積極的に取り組んでいきたい	開催頻度や時間帯など、より参加しやすい工夫が必要だと考えています	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	重要事項説明書に基づき、すべてのご契約者さまへ説明させて頂いています	説明時の表現方法に配慮を行い、どの保護者様にも分かりやすい説明を心がけます
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	計画書を作成する前には、5領域に沿って丁寧にアセスメントを行い、ニーズの把握と課題の整理を行っています	ご家族のご意向が優先される場合が多いので、可能な限り利用者様の意思が尊重されるように工夫していきたい
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	計画書の策定時から保護者様へ説明・同意を頂き、児童発達支援計画書の作成を行っています	特に加算の取得に関わる項目については、丁寧に説明を心がけていきたい
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	日常的な連携を大切にし、相談しやすい関係性の構築に努めています	幼稚園・保育園へ送迎する場合、保護者様との対話する場面が少ないので、工夫が必要と捉えています
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	実際の療育場面の参観と組み合わせ、相談の時間を設ける事で、参加人数が増えました	保護者様へ幅広く参加してもらうために開催時期や、内容を柔軟に設定していきたいです

	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	保護者様からの相談には管理者が迅速に対応している。また記録として残し振り返りに繋げています	体制の整備は整っていますが、全体的に相談件数が少ない状況です。積極的な呼びかけや情報発信を行ってまいります
保護者への説明等	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	保護者様とのやり取りは、連絡アプリを使用しています。通信以外にもアンケートやお知らせ等に活用しています	紙媒体での配布を希望する保護者様もいらっしゃるの、柔軟な対応を心がけます
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報取り扱いマニュアルに沿って適切に管理しています	マニュアルの整備を保護者様へ周知する事が課題と捉えています
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	正確な情報伝達の為、連絡帳の表現方法にも配慮をしています	現在の所、情報伝達において大きな配慮を検討する事案はないが、今後の為にも体制を整えたい
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	地域住民の招待に至っていませんが、老人クラブとの交流を行い共生社会の実現を意識した活動を行っています	地域の中で必要とされる事業所となる様、信頼関係に努めていきたいと考えています
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各種マニュアルを整備し保護者様へはお便り等にて周知を図っている。また訓練結果を市町村へ報告しています	訓練内容が偏らないように、自然災害や感染症など多方面での訓練を実施していきます
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	BCP計画に基づいて研修や訓練を行っています	様々な場面を想定して、保護者様への引き渡し訓練や近隣住民との連携にも力を入れていきます
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	定期的なアセスメントごとに、服薬内容や持病についても聞き取りを行っています	現在は該当児童はいませんが、てんかんやその他発作に対応するための研修を実施していきたいと思っています
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	該当するお子様はいませんので指示書の提出はございません	今後の受け入れを想定して職員の意識向上に努めたいと考えています
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を策定しています。計画に応じた研修や訓練も実施しています	必要に応じて安全計画の見直しを行って行きます
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3	安全計画を定め策定していますが、保護者様への周知には至っていません	今後、ご家族様へ周知徹底して行きます
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットをスタッフミーティングで報告し、対策を共有しています	新人スタッフへの書き方や報告の仕方について、研修・教育の時間を作りたいと思います
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	県主催の虐待防止擁護研修に参加し、その後の伝達研修にて職員間で共有しています	虐待防止の認識が風化しないように、定期的に委員会の開催やその他研修を充実させていきたい
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	身体拘束がやむを得ず必要な利用者様には、個別支援計画書に内容を盛り込み、保護者の同意を得るように心がけています。また解除に向けての検討も行っています。	普段の支援の中に、身体拘束に該当する言動がないかどうか、事例検討を交えてスタッフが議論する場を増やしていきたいと思っています	